

能阿弥 傳書

# 本邦鍛刀銘盡

明治年間筆字

備後國 一乘 法花ト云 法花一乘ト 如 此打ちたるも在

助國 一文 東 糸 住作 正家 尾乃 心廣 貞廣 負廣

尾道 此 両 三 人 ながら 三 原 の さく 者 に あ ら ず

一 三 原 八 太 刀 か た な 無 銘 な り 子 細 在 古 三 原 又 は 子 二

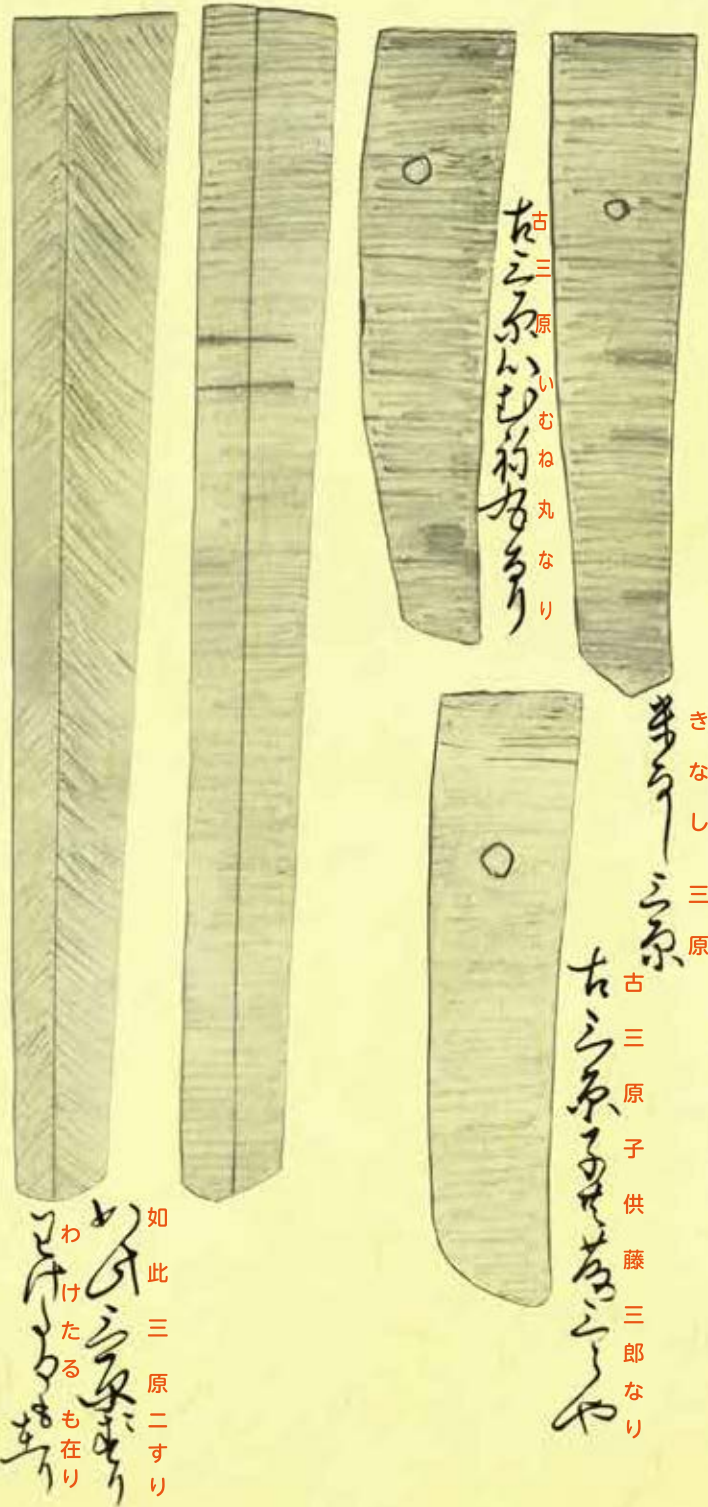
藤三郎 又 同 國 共 二 所 々 ほん

志やう 三 原 ト 云 あり 以上 四 人 あり 同 國 共 二 所 々 ほん

事なし 出所へ 物切たる二より 代屋 寸し 近年 天下

就一乱 龍一乱 用たるなり 應仁 文明 頃より 此間二

一 無 銘 なる 間 ながら を 繪 図 に 移 し 置 な り



如此三原二すり わけたるも在り

原本は島根県安来市和鋼博物館蔵

令和七年（二〇二五年）一月一日

其阿彌秀文編集